



〒177 東京都練馬区関町北 4-32-48 石神井高校同窓会

委員 恭武力 勇 和章 寛光
山口 協 賀下 間上
内出 行 橋 高 千 山 本 井

半世紀を経て、

より太い絆づくりを

高 橋 勇

○五十周年記念行事を

盛大裡に上えて

昭和十五年（一九四〇年）一月に、「東京府立第十四中学校」として設置認可された母校の都立石神井高校が、激動の昭和時代を越えて半世紀の足蹟を刻んで来ました。本来は平成二年が五十周年に当たるのですが、体育館等の増改築落成披露を兼ねて、平成四年十一月七日（土）に記念行事が行われました。午前中は学校主催の記念式典、午後から同窓会主催で總會を兼ねた祝賀会が盛大に挙行されました。

はからずも同窓会の実行委員長を大敷会長から委嘱されて、多くの委員の方々の御協力で「記念デレホンカード」の発行、旧師をお招きして三百名近くの会員各位のご参集を頂き盛大裡に祝賀会を終了する事が出来ました。誌上をお借りして、改めてお礼申し上げます。

○新たな進展をめざす

祝賀会等に参加された旧師や会員の方々から「これを契機に同窓会を一層活性化させよう。」と、

いう声が多かった。

同窓会は企業体活動とは異なる上に、会員数は一八〇〇名を越え、年齢構成も六十代から十代までと幅が広く、当然とも言える価値観の相違や居住地の拡散やらが在り、口で言う程活性化は容易なことではありません。

しかし、難しさを権にして手をこまねいては前進しません。以下、いくつかの事を提言しつつ、実践へと取組みます。

☆其一、同窓会名簿の発行

まず、母校「石神井」の卒業生であることの確認が第一歩です。その為、同窓会名簿を発行することにいたしました。

当初役員や有志委員の方が資料収集や会員把握に努力して下さいましたが手に負えません。

そこで、今回は株式会社「サラト」と出版契約を結んで平成六年六月末に発行することになりました。

本年七月頃より会員把握に着手致しますので、会員各位の御協力をお願いいたします。

会社や役所、大学等でも何気ない会話の中から「お前も石神井の卒業生か!」と、相互の親近感を深めたり信頼を得たりした事例を聞きます。

これを一歩進めて、発行される同窓会名簿により「先輩には誰さんが居る。」「誰は後輩だったのか。」「と、石神井の絆を結び直してもらうことを願っています。

☆其二、連携と組織化

現在の同窓会は正直なところ、若手の役員の方や一部の会員の手で細々と、しかし精一杯、会を支えています。

また反面、同期会やサークル集会等を毎年のように開いて氣勢をあげている石神井生のごも目にも見えます。

そこで、それ等で活躍されている世話人や幹事の方にお願ひします。活動の状況や名簿を同窓会にも提供して下さい。貴重なそれら情報を見掛かりに情報交換や連携、縦横の組織化を模索したいのです。同窓会規約には人合年度（各期）ごとに委員を選出して、役員とともに委員会を構成して会の運営を支えることになっております。（第六条）ここが死文化してしまわないように努めてみます。

☆其三、会員の叱咤と協力

「今の石神井高校はどうなっているんだ?」「同窓会は何をやっているんだ?」「と、声を届けて下さい。

それが、会員であることの根本なのです。担当している者にとっても同窓生の声は新たな意欲をかきたてる糧となります。出来れば、何年かに一度でも母校に顔を出して下さい。

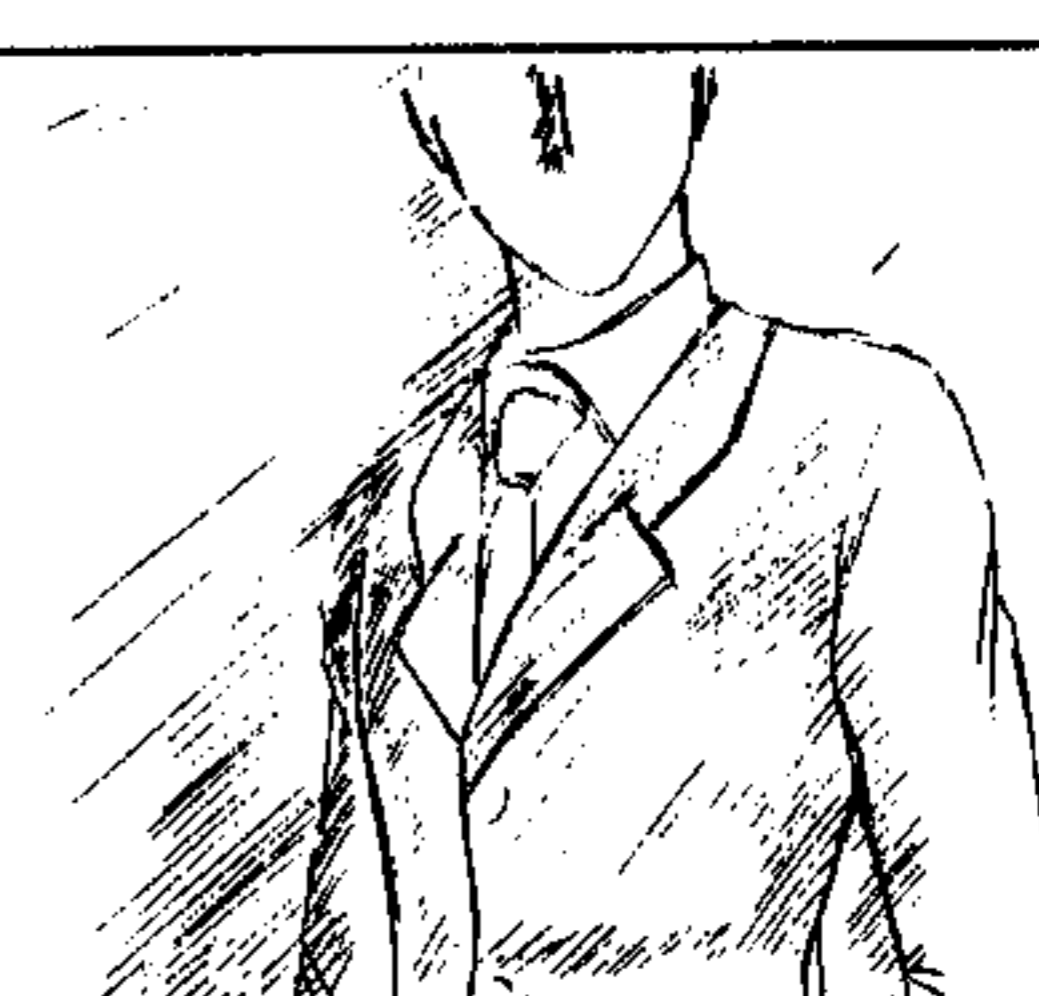
また、お持ちの住所録に同窓会の住所をお加え下さい。

そして、住所、身分等に変更がありました時は御一報を是非お願ひいたします。……石神井同窓会を忘れないで。

☆其四、会報「きずな」の活用

母校・旧師・旧友を結ぶこの会報「絆」が、全委員にわたる唯一の情報紙であり、忘れていた同窓生であることを思い出させてくれます。

この会報「絆」が遠隔の友への連携へとつながって活用され、新たな仲間づくりや同窓会発展の太い絆になればと願っています。



新役員候補

会長 高橋 勇
副会長 千賀 可一

城 和裕
※山下 章
内山 恭

会 計 ※本間 寛
井上 光子

会 計監査 ※手崎 政仁
浜澤 隆光

参 与 ※木本恵美子
※加藤 純子
※中川 清敏

※は、石神井高校現教職員

同窓会総会

今年、六月十三日（日）同窓会総会が開催されます。お茶を飲みのみ、お菓子をして、楽しいひとときを提供。皆様お誘い合わせの上、御来場ください。

開催日 平成五年六月十三日
会場 石神井高校。会議室
午前十一時より

▽ムダも役に立つだろうか

会長 大蔵 正義

(高四回)

誰にも若き日の思い出というものはあるものとは思いますが、

こんなことは、それぞれが勝手に考えることであって、他人がトヤカク言う事ではないでしょう。

私も、石神井、という言葉を耳にしたり、目にしたり、思い出したりしたとき、どんな思い出が浮かんでくるでしょうか。

石神井を卒業して四十年以上もたつてみると、

あふれていた自分を

をアリアリと思ひ出します。ときには階段を登っていて、膝の痛みを感じるとき、石神井のグラウンドで、思いつき走ったときのこと

同窓会の会員の皆さんは、今年卒業したばかりの方々から、人生にくたびれてきている方々までおられます。しかし、各自の若き日の数年間を過ごした石神井の思い出は、善きにつけ悪きにつけ自分の生涯の思い出から取り除くことはできません。

石神井のときの思い出が、どんなに素晴らしいものであったとしても、いま、それを再現することはできません。時には苦しい思い出もあったと思いますが、かなりの年月がたつてみると、それを思い出すことも人生のゆとりの一つになつていっていると思ひます。

同窓会の存在は、あまりワスラワシイものであつては困ると思ひます。同窓会の「きずな」に目を通して、かつての若き日の自分を思い出し、また同じ教室で、同じグラウンドで過ごした友人達が、いまだどんな生き方をしているか、

いまだどんなことを考えているかを知ることは、人生の楽しみ方の一つではないかと思つております。

めんどうくさい事ではございませんが、同窓の皆さんにお願いしたいことは、いまだここに住んでいるか、(できれば電話番号も)、

どんな仕事をしているのか、どんなことを考えているか、かつての石神井のことをこのように思い出している、というようなことを

ハガキか手紙に書いて母校(練馬区関町北四一三二四八)宛にお送りいただきたいということですが、それを「きずな」に生かしたいと存じます。

申し上げにくいことですが、そのための費用を少々ご協力いただきたいと存じます。

ごちそう同窓会

同窓会の会費などはムダなこととお考えの方もおられると思ひますので、無理にとは申し上げませんが、私は、自分が生きていくということも、かなりのムダではないかと思つております。しかし、それがムダであるとか、ムダでないとかは、自分ではなかなか判断することの難しいことではないかと思つております。

同窓会など全くムダなことよとお考えの方もおられると思ひます。それも一つの考え方であつて、それはそれなりに一理があると思ひます。

今回は、石神井は自分の人生の「コマ」であつたという思ひの方に、少々のお力添えをいただきたくお願いを申し上げます。

訃報

平成三年四月六日

坊城 俊民氏

(元教頭・昭和二十九年二月 赴)

平成三年七月一四日

小林 完二氏

(理科・物理・昭和四十六年四月)

平成四年一月三日

寺澤 乾二氏

(元保健職員・昭和二十八年二月)

平成五年四月九日

神田 清之氏

(元美術職員・昭和二十七年三月)

役員から会員の方々への通信コーナーです。

前号に係るご意見ありがとうございました。励まし、お叱り等々いつも、しっかりと読んでくださっている方がいる、との手紙えがとでも嬉しかったです。

これからもよろしくお願いいたします。同窓会としては、より良いものと成るために、自らにある程度変化を求めるといたします。詳しいことを知りたい時は、文書にてお問い合わせください。

五十周年記念誌の感想もつてます。石神井に対して、五十年の歴史、個人的な思い出等、楽しい手紙を下さい。

又、申し込んだはずなのに、まだ送られてない方なども、ご一報下さい。

同期会を開催している学年の方一部活動等のサークル活動のグループの方！各団体の名簿の提供をお願いいたします。

又、その幹事や世話人の方をご紹介ください。と思つています。同期会、同好会、グループ活動等のお便りを下さい。記事にして広く情報提供をしたいと思ひます。

住所等の異動がありましたときは、是非事務局にもお知らせ下さい。是非事務局にもお知らせ下さい。是非事務局にもお知らせ下さい。

会計から

過去一週分の会計報告をきずな紙面上に掲載できなかったことを深くお詫び申し上げます。

平成四年度の会計数値については、六月の通常総会を十一月の五十周年記念総会へと延期させて頂きました関係上であるということをお断り致します。

なお、特別決算は平成五年会計年度の半期決算となります。平成四年七月一日から、記念総会を繰り同年二月二十一日までを今年度特別に決算させて頂きましたので御了承下さい。

来年度のきずなに掲載いたしました会計報告は、平成五年一月一日から同年六月三十日までの半期決算となりますことを、ここに御報告申し上げます。

平成3年度会計報告	
(収入の部)	
前年度繰越金	14,985
43回生入会金	1,627,500
雑収入	54,699
計	1,697,184
(支出の部)	
総会費用	222,401
きずな(印刷・他)	391,898
きずな(発送)	634,395
委員会・役員会	155,692
その他事務経費	187,100
黒藁分担金	180,000
計	1,771,486
差損	73,302
運営資金補填	250,000
(50周年運営より)	
次年度繰越金	175,698
(自平2.7.1~至平3.6.30)	

平成4年度会計報告	
(収入の部)	
前年度繰越金	175,698
44回生入会金	1,501,500
雑収入	84,856
計	1,762,054
(支出の部)	
通信費	51,480
慶弔費	15,450
委員会・役員会	45,380
その他事務経費	49,530
計	161,840
次年度繰越金	1,600,214
(自平3.7.1~至平4.6.30)	

特別決算	
(収入の部)	
前年度繰越金	1,600,214
雑収入	2,489
計	1,602,703
(支出の部)	
きずな(印刷・他)	378,983
きずな(発送)	653,317
同窓会封筒印刷代	191,480
委員会・役員会	94,605
その他事務経費	158,741
計	1,477,126
次年度繰越金	125,577
(自平4.7.1~至平4.12.31)	

五十周年 行事無事終了。

去る平成四年十一月七日、石神井高校、新体育館にて、五十周年祝賀会が開催されました。当日には、三百余名の同窓生の方が出席して下さい、ひじょうに華々しく、かつ、なごやかで楽しい会となりました。参加していただいた皆様には、この場を借りて、御礼申し上げます。

五十周年記念同窓会

うらばなし
城 和裕(高二一回)

記念行事の準備は、大蔵生哉同窓会会長の招集で数年前から二十名前後の大勢の役員さんが、学校や中野に在る会長宅の天徳院に集まり、色々打ち合わせが行われていました。昨年、今頃から学校の記念式典と同日に行う事に正式決定して以来が急に忙しくなってきました。都合が度々持たれて諸事項が次々と決定されて行きました。私が、『青島グループ』という都内8店舗のレストランとケーターリングを手がけております関係で企画提案書を作成、提出し、慎重にご検討いただいた上でお引受けすることになりました。会場は、新体育館です。新調なつた体育設備に備をつけるわけにはいきませんので、ここでも石神井同窓生、同期の役員である酒井秀彦氏(大地建設(株)社長)の協力を得て、建築用の養生シートやテープを沢山届けて貰いました。

式典の前日には、役員で同窓生でもある体育の山下 章先生の指導のもと、現役のバスケット部員にも活躍をいただいて、無事に床全体を覆い敷き詰める事が出来ました。又、学校の卓球台を沢山集めてメインテーブルを作り、そして又、会議用の折りたたみ机でサイドテーブルを作りました。そして、真っ白なテーブルクロスを張って、新調した黄金色のス



カートを巻かせ、金屏風を立てると、とても体育館とは思えぬ、立派な宴会場が生まれたのでした。さあ、母校のめでたい五十周年記念同窓会です。同窓生の皆さんに喜んで貰えるよう、沢山の和洋中華の料理の他に、特別に模擬店で神戸牛の鉄板焼きや、お寿司の職人さんにも来てもらい、握り立ての味を楽しんで頂きました。300名の同窓生が一同に会しての祝宴は、高橋 勇実行委員長と井上 光子さんのペア司会で楽しく、皆さんの絶大な御協力をいただいで無事終了いたしました。我が校は都立高校の中でも、黒菱山荘をもつていたり、広い校庭に恵まれていたり、長所が沢山あり、卒業生は皆さん社会の中枢を背負って立っている立派な方達ばかりです。

もっと沢山の同窓生の知恵や力を借り集める事が出来たらと思ひ、それにはもっと集い、話し合い、母校の安定した発展を願う事が、今現在大切だと思っております。最後に、忙しい時間を割いて御努力いただいた、学校長や先生方及び役員諸氏のご苦勞に対し、重ねて感謝したいと思います。

誠に行り難うございました。

会費改定に御協力をお願いいたします。現行の同窓会費は十年間据置かれたままで運営してきましたが、今回下記の規約改正案のとおり改定することにいたしました。御了承のうえ、会費納入にご協力をお願いします。

50周年式典会計報告

(自88.7.1~92.12.31)

(収入の部)	
7-50971振込分	10,658,192
(累積年会費)	
8-413668振込分	3,171,000
(寄付、テレカ)	
振込外収入	1,233,000
(寄付、テレカ、記念誌)	
雑収入	3,665
計	15,035,807
(支出の部)	
委員会事務経費	412,999
委員会通信費	74,552
名簿作成経費	1,336,257
テレカ作成経費	1,702,200
黒菱・同窓会へ	1,100,000
振込手数料	40,972
パーティー費用	2,062,575
学校へ寄付	1,000,000
計	7,729,555
計差額	7,304,602
(会計 井上 光子(高38) 監査 赤津 英俊(高41))	

石神井高校同窓会規約の変更(案)

※()内が現行

第13条	通常会員は入会の際、入会金として5,000円(3,500円)を納入する。
第14条	通常会員は年会費として卒業後15年間は年額1,000円(500円)卒業後16年目~25年目までは年額1,500円(1,000円)、卒業後26年以上は年額2,000円(1,500円)を納入する。但し、卒業後5年間は納入を免除する。
第15条	本会の会計年度は毎年7月1日(1月1日)に始まり、翌年6月30日(同年12月31日)に終る。

平 成 四 年 度	服部 生平 (教諭・英語) 一定年退職
平 成 五 年 度	相田 典子 (教諭・英語) 一定年退職
平 成 六 年 度	佐藤 啓次 (教諭・英語) 一定年退職
平 成 七 年 度	山田 潔 (教諭・英語) 一般退職
平 成 八 年 度	三井 千宏 (教諭・英語) 一般退職
平 成 九 年 度	本橋 良男 (教諭・英語) 一般退職
平 成 十 年 度	山下 一雄 (教諭・英語) 一般退職
平 成 十 一 年 度	高野 虎彦 (嘱託員・理科) 任期満了
平 成 十 二 年 度	津川 利夫 (校長・理科) 小山台高
平 成 十 三 年 度	津川 教篤 (教諭・社会) 戸山高
平 成 十 四 年 度	館野 真代治 (教諭・数学) 勸奨退職
平 成 十 五 年 度	中村 武義 (教諭・数学) 雪谷高
平 成 十 六 年 度	劉 信行 (教諭・数学) 大崎高
平 成 十 七 年 度	尾澤 義仁 (教諭・理科) 小松川高
平 成 十 八 年 度	堀田 信子 (教諭・理科) 萩窪高
平 成 十 九 年 度	山口 岳夫 (教諭・英語) 一定年退職
平 成 二 十 年 度	野口 美保 (教諭・英語) 新宿高
平 成 二 十 一 年 度	中尾 孝子 (教諭・理科) 育保
平 成 二 十 二 年 度	佐藤 哲男 (嘱託員・社会) 任期満了

※昨年「さすな」の紙面の都合上、掲載出来なかったことをお詫びいたします。
氏名(職名・教科等) 一 新所属等

